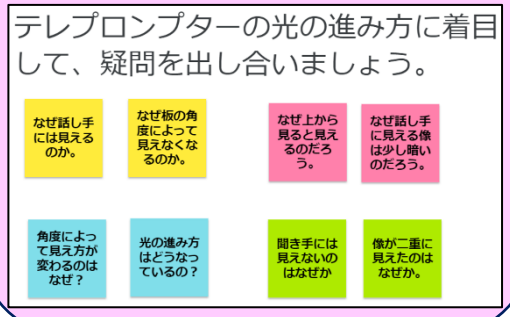
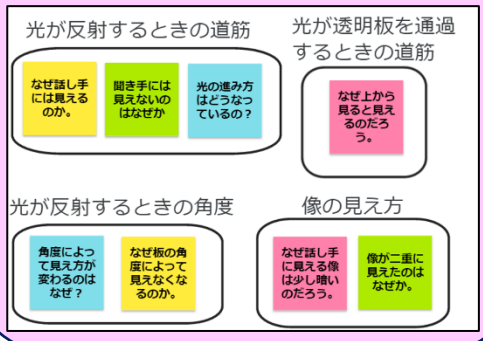
本時版「ICT を活用したまなび」授業実践

教科	理科	学年	中学１年
単元名	光と音（啓林館　未来へひろがるサイエンス1）	時	第２時（全 13 時間）
本時の目標	テレプロンプターをつくり、光の進み方に着目して観察を行い、光の反射と屈折に関する問題を見いだして課題を設定することができる。		

	学習活動	ICT 活用
1	○テレプロンプターのモデルをつくって、光の進み方に着目して観察する。	2【学習者用端末】 Google Jamboard 上で、あらかじめ班ごとに割り振られたフレームに、個人で見いだした疑問を付箋に入力して貼り付けていく。 
2	○観察して、個人で見いだした疑問を班で出し合う。	
3	○出し合った疑問をグループ分けして、原因として考えられる要因を検討し、班としての問題をまとめる。	3，6【学習者用端末】 付箋をグループ分けし、考えられる要因を書く。班の問題や課題を設定する。 
4	○班ごとにまとめた問題を発表し、学級全体で共有する。	
5	○他の班の発表をもとに、気が付かなかった現象があれば再度観察する。	
6	○見いだした問題から解決可能な課題を設定する。 （例）「光が○○するときの△△は、どのようになるか。」	
7	○班ごとに設定した課題を発表し、単元の学習に見通しをもつ。	4，7【大型提示装置】 各班の Jamboard を提示する。

本事例は、「平成30年度全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた理科の学習指導の改善・充実に関する指導事例集（国立教育政策研究所）」を参考に作成しています。

備　考
・どのように整理したらよいか悩んでいる班は、他のフレームを閲覧して他の班のまとめ方を参考にすることもできる。 ・教員は全ての班の進捗状況を Jamboard 上で確認できる。そのため、話合いが滞っている班などが把握でき、適宜支援を行うことができる。 ・本時で用いたフレームは自動保存されるので、その後の授業において振り返りの場面などで再提示することができる。

作成【奈良県立教育研究所】